



アクテノン

NO. 77

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ 疲労に充たされて……

ごとうてるよ（「劇団名古屋」俳優・シルバーボランティア劇団「かがやき」指導
愛知父母懇談会朗読サークル「ひなたぼっこ」指導）



私の60代は、思いもかけぬ『松原英治・若尾正也記念演劇賞』受賞の喜びで始まり、その直後からの、思いもかけぬ実母の介護が始まった。“禍福はあざなえる縄の如し”のことわざを思った。役者としての喜びは、アツという間に実人生の重圧に凌駕されたのである。

骨折がもとで、歩くことはむろん立つこともできなくなった母は、要介護5、最重度の認定を受け、車椅子の人となった。住み慣れたわが家でこの母を看取っていこうと決意したものの、以後の歲月、私は安らいだ時を持った記憶が無い。私の半身には、片時も離れず母の存在が占められており、あとの半身で、私は芝居づくりを続けた。両立といえば聞こえはいいが、どちらも半身で成し得る仕事ではない。互いが互いを侵蝕し、二つ共の不完全さに、私の心はいつもキリキリ舞いしていた。

介護のシンドサは、そのゴールが見えないことにある。ゴールは、愛する者の死を意味することであり、快復の明るい未来を指すものではない。明日終わるかもしれぬという怖れにおののき、またこの日々が、果てしもなく続くような恐怖にもおびえ……介護者の精神は、年月を経る毎に不健康さを増してゆく。

そしてなお、私は芝居を手離さなかった。非情にも母に就寝を急がせ、ベッドへ寝かしつける。40キロに満たぬ瘦躯が、移乗の折に発するその何倍増かの重量を、私はどれ程呪ったことだろう。「稽古に行ってくるからねッ！」分厚い台本やら何やらを詰めたバッグを抱え、家を飛び出す。稽古場までの30分間、自分を創造者へと転身させ、そして毎度、既に始まっている稽古の中へ、コソ

ッと潜り込んでゆくのだ——。

在宅介護八年目を迎えたこの正月三日、母は息を引きとった。果てしもなく続くかとも思われた介護の日々に……ゴールが来た。享年99歳、世間では大往生という。

通夜の夜更け、夫の久保田（演出家）が、この七年間の私の関わった舞台を数えあげてくれた。15本もの芝居の題名が挙がった。どれも薄氷を踏むような思いで創りあげた舞台である。この母が居なければ……と、子として地獄の心も持ち合わせて創った舞台たちである。役者は常々、自分の心の底を俯瞰する。愛から憎へ、憎から愛へ、健やかさも不健康さも……この七年間、私は実に多種の感情を自分の中に見つけた。

神はなんの試練をとて、この短くはない苦闘の時間を私に与えなさったのであろう？受賞の喜びの直後に!?

私は今、哀しみやら寂寥も増して、深々とした疲労に充たされている。戦争を挟んだ一世紀に近い母の人生がどんなであったか？そしてその最期の七年間を、一人娘の私に全介護された母の思いがどんなだったか？私には、慮る余力が無い。笑顔の写真の母に、「劇団へ行って来るよッ」と声をかけ、私は今日も稽古場へ出かける。劇団名古屋は、今春56周年を迎える。劇団が無ければ、私は芝居を続けてはこれなかったと思う。そして、この苦しい七年間を変わらず支えてくれた家族たち、娘と息子、とりわけ久保田の援護には、亡き母共々感謝し尽くせぬものがあり……この天からの賜物のような支えに助けられ、私は七年間を狂うことなく歩んでこれたのだと、密かに思っているのだ——。



劇団名古屋 創立55周年記念公演 第一弾
「こんにちは、母さん」
'12年6月15日・16日
熱田文化小劇場にて

トピックス

■ 初めての演劇体験



シニア演劇部員募集(50代~70代の15名)を知って向こう見ずに申込んだ。アクテノンの企画で劇の練習を週一回7月に始め11月の公演で終わる。指導者は演出家の佃氏と助手の堀尾氏である。

ひとつの劇を長時間かけて出演者が協力して完成させるという過程を経験できたことは、大きな収穫だった。毎回練習の前に体操と発声練習をした。発声練習は、遠中近の距離に座った人に向けてアイウエオなどを声に強弱をつけて投げかけるもの。初回には自己紹介、イメージ・トレーニング、寸劇なども行った。やがて台本が配られ役配が決った。「カレー屋の女」という奇想天外な劇。途中から朝の自主練習が加わった。

私は女ばかりの島にやって来た森本という男の役。真面目くさった私には変な人物であるが、段々彼の心を表現することが楽しくなった。共演者から「中島さん、早く台詞覚えて。台本を手にして言ってもいいよ。そして私の顔を見て言

中島 尚武（元愛知県立高校教諭）

ってね」と注文がつけられて、私は目覚めた。また台詞の覚え方や動作についても助言を受け、うまく出来るように励ましてくれた。

森本の台詞の一部分が出演者に振り分けられたので、あらゆる所から声がわき出て迫力があつた。「骨まで愛して」の合唱は、さすが愛の経験を積み重ねたシニア女性ならではの情感がこもっていた。「カレー屋の女」は生存をかけた女性達と男の物語なので、成功と失敗の歴史を味わってきた我々の世代にはぴったりなのだ。強力なライトが白い傘、黒の喪服、白の広い布に当てて幻想的だった。公演は好評だった。

共演の女性達は皆さん努力家で魅力に富んでいた。間の取れぬ鈍い私に腹も立てず、最後までつきあってくれたありがとう。そして演出と舞台の労をとられたスタッフの皆様、縁の下の力持ちの役を演じてくださったアクテノンの皆様心から感謝したい。



アクテノン シニア演劇部発表会
「カレー屋の女」

'13年11月28日 名古屋市千種文化小劇場にて

アクテノン・シャワー

■ 演劇練習館 アクテノン

新規研修室2のご案内!

平成25年4月より現在の会議室(1階)を「研修室2」として貸出が始まります。《有料・定員20名(定員は目安です)、床(カーペット)、鏡・ピアノなし》

利用区分及び練習室料金は「研修室1」と同じです。様々な練習や会議にお使いください。皆様のご利用をお待ちしております!

※詳しいことは演劇練習館までお問い合わせください。

TEL:052-413-6631

■ 図書のご寄贈ありがとうございました。

次の方から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

(敬称略)

伊藤 信夫
宝珠山 隆博
岡部 紀子



アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 オレンジスタ



「名古屋大学劇団新生」出身の作・演出二ノキノコスターと、主宰・プロデューサー佐和ぐりこにより結成した劇団。マクロな社会問題をミクロな視点から描き、歌・ダンス・笑いなどを交えて、ロッキンポップに仕上げる作風。現在、毎月末日曜20:00~短編を無料でインターネット配信する「12ヶ月連続Ustream公演」を実施中! 次回公演は2013年3月15日(金)~17日(日)「犬殺しターくん」と非実在チーちゃん」千種文化小劇場にて。最高に最低なハッピーを、あなたに。

①2009年 ②13名
③『童話道程スプラッタァ』/ナンジャールレ('10年) 『臨界突破ボルチニコフ』/七ツ寺共同スタジオ('10年) 『オレンジスタ×チェルシイとバニーガール「ニコイチ」』/千種文化小劇場('11年)
④佐和 ぐりこ
HP:<http://orangesta.web.fc2.com>
E-mail:orangesta@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 予定表でたくさんの劇団さんのお名前を見るたび、自分たちも頑張ろう!と、稽古の励みにになります。アクテノンさんに集まる演劇の輪が益々広がることを祈っています。今後とも宜しくお願いします!

演劇 希望送電



初めまして、演技集団「希望送電」です。映像作品制作を中心に活動しています。作品は、YouTubeにアップしているので、ぜひ検索してみてください。ジャンルは様々ですので、たくさんの方に楽しんでいただけたらと思います。

“希”代の役者、皆様から“望”される役者を目指し、多くの方の心に残る作品を“送”るため、日々邁進する“電”撃的演技集団、それが「希望送電」です。さあさあ、今すぐYouTubeで検索ですよ。※名前の由来、本当は違います(笑)

①2011年 ②8名
③『そして誰もいなくなった』/YouTube('11年) 『フリーガンズ』/YouTube('12年) 『黒島からの手紙』/YouTube('12年)
④伊藤 暢浩
☎090-6612-5677
E-mail:tkh1415@gmail.com

アクテノンに一言 いつもありがとうございます。「稽古場どうする?」「やっぱりアクテノンでしょ!」という感じで、いつも使用させていただいています。限られた資金・設備しかもたない僕らの心強い味方です。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

劇団アルクシアター 『鬼鬼式=MONONOKE 2nd』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 3月8日(金) 19:00、9日(土) 14:00 19:00、10日(日) 13:00 17:00 ③ 一般前売3,500円(当日4,000円) 高校生以下2,800円(当日3,300円) ペア前売のみ6,600円 ④ ☎080-3638-0423 FAX0567-67-5333 alktheater@gmail.com アルクシアターならではの手法が炸裂する現代伝奇サスペンス活劇。お楽しみに。
NAGOYAダイアモンズ vol.5 『月の教室』 作:宮沢章夫 演出:小熊ヒデジ	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 3月16日(土) 15:00 19:00、17日(日) 11:00 15:00 ③ 一般1,800円(当日2,000円) 大学・専門学校生1,400円 高校生以下800円 ④ ☎090-6091-3415 (名古屋演劇教室) ☎0561-54-8984 (名古屋演劇教室) 些細な出来事に揺れる想いが交錯し、生きるリアルを紡ぎ出す。月の教室へようこそ。
蒼天の猫標識 第一回公演 『やりなおしの唄』	① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア 1Fプレイルーム ② 3月30日(土) 14:00 19:00、31日(日) 14:00 ③ 無料 ④ soutenneko@gmail.com 旗揚げ公演という期待を裏切りたいと思います。それは二度と唄えない唄。
♀魔や菓子♂&SuD 月読坂7-1・ Ground Cross	① 名古屋市天白文化小劇場 ② 5月18日(土) 17:00、19日(日) 13:00 ③ 前売2,500円(当日3,000円) ④ ☎090-3455-3357(結崎) ryou_sud@yahoo.co.jp お芝居とダンス&歌のショー2本立て。忙しい日常をほんの一時、忘れに来ませんか?



編集発行/平成25年2月25日(年4回)

財団法人 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

